

帝国書院『高校生の公共』（令和8年度以降版）〔公共046-901〕 特色一覧

項目	特色
総合的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間のなかで主権者および自立した契約主体として求められる、①さまざまな課題をみずからの問題として正対し解決しようとする意欲・関心と、②その課題に対して自分なりに判断していくために必要な資質・能力を、確実に身につけられるように構成されている。 ・教科書全体を通して、実社会の具体的な課題が積極的に取り上げられ、また課題に対するさまざまな立場の人の意見や主張が数多く紹介されており、物事を多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 ・最新の具体事例や高校生の活動事例が豊富に取り上げられ、学習者の興味・関心を高め、学んだ内容を社会に生かす姿勢を育めるように工夫されている。 ・单元ごとに設定された第1部の「章の問い」や第2部の「節の問い」、各見開きに設定された「学習課題」は、学習内容と学習者自身との関わりを意識した内容となっており、それらの問いや課題に取り組むことで、社会参画に向けた態度が形成されるように構成されている。 ・各分野がバランスよく配置され、分かりやすい本文と高い資料性を備えることで、基礎から応用まで幅広い学習に対応できるように工夫されている。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆第1部「公共の扉」は、実社会の課題解決に必要な「視点や方法」を養えるように構成されている。 ・特設「『公共』の見方・考え方」では、幸福や正義、公正といった概念的枠組みや、義務論、功利主義をはじめとする選択・判断の手がかり、人間の尊厳と平等、民主主義などの基本的原理を理解し活用することで、第2部以降の学習に生かせるように工夫されている。 ・身近な事例が数多く取り上げられ、青年期の特徴や悩み、多様性のあり方、キャリア形成や先哲思想に関する学習において、自己と他者、自己と社会の関わりについて考えられるように工夫されている。 ・「共有地の悲劇」などの「思考実験」においては、人々の多様な主張や利害が複雑に絡み合う社会の構造をモデル化し、課題の本質をとらえながら、人間としてのあり方・生き方を考察できるように工夫されている。 ◆第2部「よりよい社会の形成に参画する私たち」は、社会制度への理解を深め、課題解決に向けた思考力・判断力を育成できるように構成されている。 ・学習指導要領に示された法、政治、経済に関する13の事柄や課題が主題として教科書の各節と対応しており、主題に沿った学習が展開できるように配列が工夫されている。 ・第2部以降の本文記述では、第1部で学習した公共的な空間におけるあり方・生き方に関する認識を基礎として、よりよい社会の形成に参画する意識を高められるように配慮されている。 ・特設「実社会の諸課題」を各節末に設置し、第1部で学んだ「視点や方法」を活用しながら、実社会の具体的な課題について解決策を考察することで、主体的・対話的で深い学びを促進できるように構成されている。 ・特設「戦後史にアクセス」では、戦後の日本と世界の政治・経済の歩みを振り返りながら、習得した知識を時系列で整理できるようにになっている。また、歴史科目とのカリキュラム・マネジメントを図れるように配慮されている。 ・各章の「振り返りページ」では、学習内容を踏まえ、探究したい課題を記述する問いが設けられ、第3部で学習者が探究課題を設定しやすいように配慮されている。 ◆第3部「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」は、科目のまとめとして実践的な課題探究学習を行うことで、持続可能な社会を形成する主体としての資質・能力を身につけられるように構成されている。 ・課題探究学習では、課題の設定、情報の収集と分析、レポートの作成方法などが手順ごとに詳しく解説され、探究活動を円滑に進められるように工夫されている。 ・「探究課題例」では、人口減少問題、生命倫理、地球環境問題、情報といったテーマが取り上げられ、各領域を横断した総合的な探究が可能となるように構成されている。 ◆教科書全体を通して、QRコンテンツが充実しており、紙面を超えた多様な学びに対応できるように工夫されている。
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習課題→導入→本文・資料→確認→説明」の流れで構成され、学習の見通しを立てやすいように配慮されている。 ・原則として1時限1見開き構成となっており、分量が適切となるよう調整され、学習計画を立てやすいように工夫されている。 ・見開きごとに「導入」が設置されており、実社会と学習内容の関わりを意識しやすい構成になっている。 ・発展的な内容の学習も可能となるように、側注欄の補足解説や資料、特設ページが充実している。
表記・表現 および 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例やたとえが適宜取り入れられ、中学校で学ぶ漢字にもふりがなが付されるなど、理解しやすい平易な本文となるように工夫されている。また、重要語句は太字となっており、視認性が高まるように工夫されている。 ・本文内容を補足する「WORD」と「補足解説」を多く設置し、理解を助ける工夫がされている。 ・本文には関連図版・写真の図番号が示され、資料の活用を促す工夫がされている。 ・本文行間には、関連する事項が扱われている箇所の参照ページが付されている。
ユニバーサル デザインへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・本文や補足解説、キャプションなどの文字には、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント（UDフォント）が使用され、誤読を防ぐ配慮がなされている。 ・カラーユニバーサルデザインを採用し、色覚特性のある学習者にも読み取りやすい表現になっている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の判型をワイドなAB判とし、図版や写真、コラム、補足解説を充実させ、深い学びのための知識を多面的・多角的に補完できるように工夫されている。 ・紙は環境に配慮し、かつ裏写りしない用紙が使用されている。 ・インキには、再生産が可能な植物由来の油などを原料とするライスインキが使用されている。 ・使用期間の間、破損することがないように、堅牢なつくりになっている。 ・指導資料や準拠ノートをはじめ、充実した関連教材が用意されている。